

付議案第 48 号

教科用図書について

上記の付議案を提出する。

令和 5 年 7 月 24 日

福岡市教育委員会

教育長 石橋 正信

理由

本件は、小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部において令和 6 年度に使用する教科用図書を採択する必要があるので、福岡市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 8 号の規定により付議するものである。

教科用図書について

令和 6 年度使用小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部用教科用図書の採択を行うもの。

1 小学校用教科用図書

(1) 全教科の教科用図書について

福岡市教科用図書調査研究委員会の調査研究報告書、学校長意見及び市民意見等を踏まえ、教育委員会において選定し採択する。

2 中学校教科用図書

(1) 全教科の教科用図書について

令和5年度と同一の教科用図書を採択する。

		発行者名	書名	使用学年
国語	国語	株式会社 三省堂	現代の国語 1、2、3	1～3年
	書写	光村図書出版 株式会社	中学書写一・二・三年	1～3年
社会	地理	株式会社 帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1～2年
	歴史	東京書籍 株式会社	新しい社会 歴史	1～3年
	公民	東京書籍 株式会社	新しい社会 公民	3年
	地図	株式会社 帝国書院	中学校社会科地図	1～3年
数学		株式会社 新興出版社 啓林館	未来へひろがる数学 1、2、3	1～3年
理科		大日本図書 株式会社	理科の世界 1、2、3	1～3年
音楽	一般	株式会社 教育芸術社	中学生の音楽 1、2・3年上、2・3年下	1～3年
	器楽合奏	株式会社 教育芸術社	中学生の器楽	1～3年
美術		日本文教出版 株式会社	美術 1、美術 2・3上、美術 2・3下	1～3年
保健体育		株式会社 学研教育みらい	中学保健体育	1～3年
技術・家庭	技術	開隆堂出版 株式会社	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	1～3年
	家庭	開隆堂出版 株式会社	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	1～3年
英語		光村図書出版 株式会社	Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3	1～3年
道徳		光村図書出版 株式会社	中学道徳 1、2、3 きみがいちばんひかるとき	1～3年

3 小学校・中学校特別支援学級及び特別支援学校小学部・中学部教科用図書

(1) 文部科学省検定済教科用図書

特別支援学校小学部及び小学校特別支援学級については小学校用、特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級については中学校用として採択するものと同一のものを採択する。

(2) 文部科学省著作教科用図書

文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和6年度使用）に掲載の図書を採択する。

① 特別支援学校小学部知的障がい者用

種目	発行者	番号	図書名
国語	東京書籍	国語C-121	こくご ☆
		国語C-122	こくご ☆☆
		国語C-123	こくご ☆☆☆
算数	教育出版	算数C-121	さんすう ☆
		算数C-122	さんすう ☆☆ (1)
		算数C-123	さんすう ☆☆ (2)
		算数C-124	さんすう ☆☆☆
生活	東京書籍	生活C-121	せいかつ ☆
		生活C-122	せいかつ ☆☆
		生活C-123	せいかつ ☆☆☆
音楽	東京書籍	算数C-122	おんがく ☆
		算数C-123	おんがく ☆☆
		音楽C-123	おんがく ☆☆☆

② 特別支援学校中学部知的障がい者用

種目	発行者	番号	図書名
国語	東京書籍	国語C-711	国語 ☆☆☆☆
数学	教育出版	数学C-711	数学 ☆☆☆☆
音楽	東京書籍	音楽C-711	音楽 ☆☆☆☆

③ 小学校・中学校特別支援学級については、特別支援学校小学部知的障がい者用及び特別支援学校中学部知的障がい者用として採択するものと同一のものを採択する。

小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部
「令和 6 年度使用教科用図書について」
(文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書)

資 料

資料 1 教科用図書採択方針及び採択の仕組み

資料 2 福岡市教科用図書調査研究委員会

小学校全教科調査研究報告書

資料 3 学校長の意見 (小学校全教科)



資料 4 市民の意見



※資料 3、4 については、会議後に、二次元バーコードから閲覧できます。
尚、データへのアクセスは 8 月 31 日(木)17:00 までとなります。

令和 6 年度使用教科用図書採択方針

(小学校、特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級)

福岡市教育委員会

I 基本方針

- 1 採択は、関係法令、文部科学省の作成する学習指導要領等を踏まえて、公正かつ適正に行う。
- 2 本市の児童生徒の実態に即し、かつ、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた指導に際して適切であるものを採択する。
- 3 「第 2 次福岡市教育振興基本計画」の趣旨に即したものを採択する。
- 4 「第 2 次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、人権教育の実践に適したものを採択する。

II 小学校教科用図書採択について

1 採択にあたっての考え方

教科用図書は、「教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材」として、学校において使用されるものである。また、学校の教育課程の基準は学習指導要領の規定により編成・実施される。ついては、教科用図書の採択に当たっては、小学校学習指導要領（平成 29 年文部科学省告示第 63 号）の総則に示す「小学校教育の基本と教育課程の役割」を踏まえ、福岡市の児童にとってより有益で適切な教科用図書を選定することとする。

- (1) 教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、児童の人間として調和のとれた育成を目指し、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。
- (2) 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次に掲げる 3 つの事項の実現を図り、児童に生きる力を育むことを目指すものとする。

ア これからの急激に変化する時代の中で、持続可能な社会の創り手となることができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、GIGA スクール構想で配備した 1 人 1 台端末を活用しながら主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童の発達の段階を考慮して、児童の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること。

イ 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

学校における道徳教育は、特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

ウ 学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、各教科等のそれぞれの特質に応じて適切に行ったり、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われたりするように配慮すること。

2 各教科共通の選定の観点

(1) 内容の範囲及び程度

ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。

イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。

ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。

(2) 内容に関する配慮事項

ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。

イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。

ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。

エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。

オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。

カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。

(3) 分量

ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。

イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。

ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。

(4) 使用上の便宜

ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。

イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。

ウ 1人1.台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。

(5) 印刷、製本等

ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。

3 教科ごとの選定の観点

選定にあたっての基本的な観点は以下に示すとおりとする。

なお、文中の〔 〕で示した語句は、学習指導要領で使用されている項目である。

<国語(〔書写〕を除く。)>

- 1 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。
- 2 日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。
- 3 日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。
- 4 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっていること。
日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるような内容になっていること。
また、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しむことができる内容になっていること。
- 6 [A 話すこと・聞くこと]については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもったりできるように意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。
- 7 [B 書くこと]については、実際に文章に書く活動を多く設定することができるように意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。
- 8 「読書」及び[C 読むこと]については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっていること。
[C 読むこと]の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。
また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げていること。
- 9 教材については、教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げていること。

<国語(〔書写〕)>

- 1 文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。
- 2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっていること。
- 3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。

<社会(〔地図〕を除く。)>

(共通)

- 1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究できる内容になっていること。
- 2 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化などを通して社会生活について理解できる内容になっていること。
- 3 様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることができる内容になっていること。
- 4 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現できる内容になっていること。
- 5 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。
- 6 地域社会(郷土福岡)に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる内容になっていること。
- 7 アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容になっていること。
- 8 自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等がわかる内容になっていること。
- 9 少子高齢化等による地域社会の変化や情報化に伴う生活や産業の変化がわかる内容になっていること。
- 10 各学年において、地図や地球儀、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっていること。

(第3学年)

身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の移り変わりを理解できる内容になっていること。また、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。

(第4学年)

都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守る諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きが理解できる内容になっていること。また、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。

(第5学年)

我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて国民生活との関連を踏まえて理解できる内容になっていること。また、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うことができる内容になっていること。

(第6学年)

我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役

割について理解できる内容になっていること。また、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うことができる内容に成っていること。

<社会(〔地図〕)>

- 1 地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味や働きなどについて考え、調べたことや考えたことを表現することができる内容になっていること。
- 2 我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。
- 3 県の特色や国土の地理的環境の特色や産業の関わり、国民生活との関連を考えることができる内容になっていること。
- 4 方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容になっていること。
- 5 近隣の諸国の正式な国名が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解し、それらを尊重する態度を養う内容になっていること。
- 6 児童が興味・関心をもって、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認めつつ、我が国とつながりが深い国を選択して調べることができる内容になっていること。
- 7 資料等は最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっていること。

<算数>

- 1 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、日常生活や社会の事象等について数量や図形に着目して問題を発見し解決するとともに、解決過程を振り返ることで、結果の意味を考察したり、概念を形成したりする内容になっていること。
- 2 [A 数と計算]、[B 図形]、[C 測定]、[C 変化と関係] 及び [D データの活用] の5領域間の指導の関連を図ることができる内容になっていること。その際、数学的活動を通して指導することができる内容になっていること。
- 3 [A 数と計算] の領域では、次の3点が重視された内容になっていること。
 - (1) 整数、小数及び分数の概念を形成し、その性質について理解するとともに、数についての感覚を豊かにし、それらの数の計算の意味について理解し、計算に習熟すること
 - (2) 数の表し方の仕組みや数量の関係に着目し、計算の仕方を既習の内容を基に考えたり、統合的・発展的に考えたりすることや、数量の関係を言葉、数、式、図などを用いて簡潔に、明瞭に、又は、一般的に表現したり、それらの表現を関連付けて意味を捉えたり、式の意味を読み取ったりすること
 - (3) 数や式を用いた数理的な処理のよさに気づき、数や計算を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること
- 4 [B 図形] の領域では、次の3点が重視された内容になっていること。
 - (1) 基本的な図形や空間の概念について理解し、図形についての豊かな感覚の育成を図るとともに、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたりすること
 - (2) 図形を構成する要素とその関係、図形間の関係に着目して、図形の性質、図形の構成の仕方、図形の計量について考察すること、図形の学習を通して、筋道立てた考察の仕方を知り、筋道立てて説明すること
 - (3) 図形の機能的な特徴のよさや図形の美しさに気づき、図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること
- 5 [C 測定] の領域では、次の3点が重視された内容になっていること。
 - (1) 身の回りの量について、その概念及び測定の原理と方法を理解するとともに、量についての感覚を豊かにし、量を実際に測定すること
 - (2) 身の回りの事象の特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現すること
 - (3) 測定の方法や結果を振り返って数理的な処理のよさに気づき、量とその測定を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること
- 6 [C 変化と関係] の領域では、次の3点が重視された内容になっていること。
 - (1) 伴って変わる二つの数量の関係について理解し、変化や対応の様子を表や式、グラフに表したり読んだりするとともに、二つの数量の関係を比べる場合について割合や比の意味や表し方を理解し、これらを求めたりすること
 - (2) 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察するとともに、二つの数量の関係に着目し、図や式などを用いてある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係の比べ方を考察し、日常生活に生かすこと
 - (3) 考察の方法や結果を振り返って、よりよい解決に向けて工夫・改善をするとともに、数理的な処理のよさに気づき、数量の関係の特徴を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること

7 [D データの活用] の領域では、次の3点が重視された内容になっていること。

- (1) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、適切なグラフに表したり、代表値などを求めたりするとともに、統計的な問題解決の方法について知ること
- (2) データのもつ特徴や傾向を把握し、問題に対して自分なりの結論を出したり、その結論の妥当性について批判的に考察したりすること
- (3) 統計的な問題解決のよさに気づき、データやその分析結果を生活や学・習に活用しようとする態度を身に付けること

8 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、具体物、図、言葉、数、式、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現したり伝え合ったり、学び合ったり、高め合ったりするなど、「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の視点をふまえた学習活動を積極的に取り入れることができる内容になっていること。

9 数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用することができる内容になっていること。

10 具体物を操作したり、日常の事象を観察したり、児童にとって身近な算数の問題を解決したりするなどの具体的な体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をしたり、算数を学ぶ意義を実感できる内容になっていること。

11 [用語・記号] が各学年の内容と密接に関連させられており、それらを用いて表したり考えたりすることのよさが分かる内容になっていること。

12 数量や図形についての豊かな感覚を育てるとともに、およその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な処理の仕方を考えだしたりできる内容になっていること。

13 筆算による計算の技能を確実に身に付けることを重視するとともに、目的に応じて計算の結果の見積もりをして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になっていること。

<理科>

- 1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。
- 2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。
- 4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。
- 5 [A 物質・エネルギー] については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)~(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。
 - (1) 「エネルギー」、「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。
 - (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- 6 [B 地球・生命] については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)~(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。
 - (1) 「生命」、「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。
 - (3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- 7 第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。
- 8 コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるといった体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。
- 9 生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることができるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指導では、災害に関する基礎的な理解を図ることが

できる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。

- 10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などの指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。

<生活>

- 1 身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での学習活動を、取り入れた内容になっていること。
- 2 動植物の飼育・栽培に関する内容については、2 学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育、栽培を行うような内容になっていること。
- 3 地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるような内容になっていること。
- 4 身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かなものとしたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。
- 5 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。
- 6 具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達の段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。
- 7 生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。

<音楽>

- 1 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わることができる内容になっていること。
- 2 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができる内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見出したりできるような内容になっていること。
- 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。
- 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図り、年間を通じて継続的に指導することができる内容になっていること。
- 6 歌唱・器楽については、歌唱表現及び器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌う(演奏する)かについて思いや意図をもったり、曲想と音楽の構造や歌詞の内容、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解したり、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けたりすることができる内容になっていること。
- 7 歌唱については、我が国や郷土福岡の音楽に愛着がもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認められるよう、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを含めて選択することができる内容になっていること。
- 8 中学年の器楽については、主旋律の演奏から和音を用いた演奏や低声部の充実まで幅広く活用することができる鍵盤楽器や、箏など、無理なく取り組むことができ、我が国の音楽のよさを感じ取れる和楽器の中から、児童や学校の実態に応じて選択できる内容になっていること。また、高学年の器楽については、合奏において各声部の役割を生かした演奏ができるよう、楽器の特性を生かして合奏で扱う楽器を選択することができる内容になっていること。
- 9 音楽づくりについては、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりすることができる内容になっていること。また、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴が生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解することができる内容になっていること。さらに、発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現したり、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくったりする技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 10 鑑賞については、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解したりすることができる内容になっていること。

<図画工作>

- 1 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる内容になっていること。
- 2 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる内容になっていること。
- 3 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする内容になっていること。
- 4 つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。
- 5 表現及び鑑賞の活動において、共通に必要な資質・能力を示している〔共通事項〕の指導を行うことができる内容になっていること。
- 6 [A表現]の「発想や構想」と「技能」に関する事項を関連付けて扱うことができる内容になっていること。
- 7 工作に表すことの内容に相当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に相当する授業時数とおよそ等しくなる内容になっていること。
- 8 各学年の〔A表現〕及び〔B鑑賞〕の指導を通して、児童が〔共通事項〕ア「自分の感覚や行為を通して形や色などを理解すること」とイの「自分のイメージをもつこと」との関わりに気付くことができる内容になっていること。
- 9 児童が個性を生かして活動できるようにするため、表現や鑑賞を幅広く捉え、児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができる内容になっていること。
- 10 〔共通事項〕の「知識」に関する指導に当たっては、次のア～ウの事項に配慮し、必要に応じて、その後の学年で繰り返し取り上げる内容になっていること。
 - ア 第1学年及び第2学年においては、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。
 - イ 第3学年及び第4学年においては、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。
 - ウ 第5学年及び第6学年においては、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。
- 11 材料や用具については、必要に応じて、当該学年より前の学年において初歩的な形で取り上げたり、その後の学年で繰り返し取り上げたりすることができる内容になっていること。
- 12 思考力、判断力、表現力等を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点として、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点をふまえた言語活動が充実した内容になっていること。
- 13 事故防止のために、造形活動で使用する材料や用具、活動場所については、安全な扱い方について指導する、事前に点検するなど配慮した内容になっていること。

<家庭>

- 1 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う内容になっていること。
- 2 他教科等との関連を明確にし、中学校の学習を見据え、系統的に指導ができる内容となっていること。
- 3 実際の生活で生かす場面を設定し、自分の生活が家庭や地域と深く関わっていることを認識したり、自分の成長を自覚して実践する喜びに気付いたりすることができる主体的な学習活動を充実させる内容となっていること。
- 4 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、児童同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々などとの会話を通して考えを明確にしたりする対話的な学習活動を充実させる内容となっていること。
- 5 児童が日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて解決方法を考え、計画を立てて実践し、その結果を評価・改善し、更に家庭や地域で実践するなどの一連の学習過程の中で、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現するなどして資質・能力を身につける内容となっていること。
- 6 [A 家族・家庭生活] の「自分の成長と家族・家庭生活」については、ガイダンスにおいて、生活の営みに係る見方・考え方に触れ、[A 家族・家庭生活] [B 衣食住の生活] [C 消費生活・環境] の学習と関連させて扱う内容になっていること。
- 7 [B 衣食住の生活] の「調理の基礎」及び「生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2 学年にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できる内容になっていること。
- 8 [C 消費生活・環境] については、[A 家族・家庭生活] の (3) 「家族や地域の人々との関わり」や、[B 衣食住の生活] の (2) 「調理の基礎」、(5) 「生活を豊かにするための布を用いた製作」及び (6) 「快適な住まい方」などに関連を図り、生活で使う身近な物などを取り上げ、児童や家族の生活と結び付けて考え、実践的に学習できる内容になっていること。
- 9 実習については、事故の防止及び安全・衛生に留意する内容になっていること。
- 10 家庭や地域との連携を図り、児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用することができる内容になっていること。

<体育(保健領域)>

- 1 保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。
- 2 身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。
- 3 「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。
- 4 健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。
- 5 運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容になっていること。
- 6 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっていること。

<外国語(英語)>

- 1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができる内容になっていること。
 - 2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いた話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。
 - 3 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっていること。
 - 4 聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別の目標と内容との関係が、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。
 - 5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。
 - 6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。
- ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てることに役立つこと。
- イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。
- ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かうことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うことに役立つこと。

<道徳科>

- 1 道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。
- 2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっていること。
- 3 学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。
- 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。
- 5 道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。
- 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。
- 7 情報モラルや環境、人権、性的マイノリティ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。
- 8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。

Ⅲ 特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級教科用図書採択について

1 文部科学省検定済教科用図書について

特別支援学校小学部及び小学校特別支援学級については、小学校用として採択するものと同一ものを、特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級については中学校用として採択するものと同一ものを採択する。

2 文部科学省著作教科用図書について

文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和6年度使用）に掲載の図書を採択する。

3 学校教育法附則第9条に規定する教科用図書について

(1) 採択の基本的な考え方

特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級で使用する学校教育法附則9条に規定する教科用図書（以下「一般図書」という。）の採択については、下学年用の文部科学省検定済教科書（以下「検定済教科書」という。）又は文部科学省著作教科書（以下「著作教科書」という。）の採択を考慮した上で実施すること。

(2) 一般図書の採択について

一般図書の採択にあたっては、検定済教科書又は著作教科書に代わるものとして採択するものであることから、教科の主たる教材として教育目標の達成上、適切な図書を採択すること。

下学年用の検定済教科書又は著作教科書の採択を十分考慮した上で、次の場合は一般図書を採択するものとする。

ア 特別支援学校小学部・中学部において、検定済教科書又は著作教科書がない場合（学校教育施行規則第135条第2項（第89条を準用）

イ 重複障がいをもつ児童生徒への教育又は訪問による教育を行うに当たり特別の教育課程を編成する特別支援学校小学部・中学部において、検定済教科書又は著作教科書を使用することが適当でない場合（同規則第131条第2項）

ウ 特別の教育課程を編成する小学校・中学校特別支援学級において、検定済教科書を使用することが適当でない場合（同規則第139条）

(3) 採択にあたっての留意事項

ア 児童生徒の障がいの種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容（文字、表現、さし絵、取り扱う題材等）のものであること。

イ 「個別の指導計画」に基づく指導及び評価等に資することができるものであること。

ウ 内容が精選され、可能な限り体系的に編集されたものであり、基礎的な事柄が適切に習得されるように配慮されていること。

エ 各教科等相互の関連が図られるとともに、具体的な内容が取り上げられるように配慮されているものであること。

オ 可能な限り学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動が行えるよう配慮されているものであること。

カ 進路指導等との関連が図られ、将来の社会的自立を図るために必要な事項が適切に習得されるよう配慮されているものであること。

- キ 特定の題材又は一部の分野のみ取り扱っている図書、参考書、図鑑類、問題集等は適切でないこと。
- ク 上学年で使用する事となる教科用図書との関連性を考慮するとともに、採択する図書の間系統性にも配慮すること。
- ケ 情報端末機器、ビデオテープ、CD、ジグソーパズル型などは適切でないこと。
- コ 全体の分量は、児童生徒の障がいの種類・程度及び授業時数からみて適切であること。
- サ 分冊本は採択しないこと、また、高額なものに偏らないこと。
- シ 印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、製本の様式、材料などが児童生徒の障がいの種類・程度からみて適切であること。
- ス 人権感覚に配慮した教材であること。

教科用図書採択について

(福岡市立小・中学校、福岡市立特別支援学校小・中学部、福岡市立小・中学校特別支援学級)

採択権者 福岡市教育委員会
教育委員会会議において審議し採択

諮問
(調査指示)

答申
(報告)

福岡市教科用図書調査研究委員会

総数 30名以内

6回程度の委員会開催

* PTA 6

* 学識経験者 5

* 校長会会長[小・中・特・高] 4

* 指導主事 (基礎資料の説明) 14

* 行政職 (手続きの適正性を判断) 1

公開

第三者的立場の委員の増加

業務

研究会が作成した基礎資料を基に協議し、その結果を教育委員会に報告する。

市民・学校長の意見

研究会

(指導主事をリーダーに各教科ごと数人の教員で構成)
全ての教科書の基礎資料作成

教科書会社と関わりのあった教職員の排除

業務

全ての教科書を調査研究し、教科用図書調査研究委員会で協議する基礎資料を作成する。

令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 国語

調査研究の視点と主な審議内容（国語）

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

観点

ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。

主な審議内容

○【東京書籍】○【教育出版】○【光村図書】研究会の評価どおり

- ・各社とも「見通しをもとよう」「振り返ろう」という細かいステップが5つくらいに分かれていることが分かる。
 - ・「見通しをもつ」段階で「問い」を重視しているから主体的な学びが期待できると評価しているが、「主体的・対話的で深い学び」ができることと「見通しをもつ」ことの関係はどのようなになっているのか。
 - ・文章を解釈する際に、見通し段階で安易に「問い」を立てると「全体」ととらえようとする際に誤ったイメージをもたせることになるのではないか。
- 国語科では、全体（文章の構造）と部分（精査・解釈）を往還しながら、学習を進めていくことを大切にす。全体を見通す段階で「問い」を工夫することにより、子ども達の学びたいという意欲が高まり、主体的な学びにつながるものと考ええる。

2 内容に関する配慮事項

観点	
カ	<p>学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないよう配慮されていること。</p>
<p>主な審議内容</p> <p>ー【東京書籍】【教育出版】【光村図書】→○ 児童の負担にならないよう配慮されている。</p> <p>「ー」という評価は妥当なのか。 発展的な学習は取り上げられていないのか。</p>	

4 使用上の便宜

観点	
イ	<p>発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p>
<p>主な審議内容</p> <p>ー【東京書籍】【教育出版】【光村図書】→○ 発展的な学習内容は取り上げられているが、「発展的な学習」として明示されていない。</p> <p>「ー」という評価は妥当なのか。 発展的な学習は取り上げられていないのか。</p>	

4 使用上の便宜

観点	
ウ	<p>1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>
<p>主な審議内容</p> <p>○【東京書籍】○【教育出版】◎【光村図書】→ 研究会の評価どおり</p> <p>2次元コードの動画や資料はどのようになっているのか。 どのような種類があるのか、動画は主流なのか例外的なのか。</p>	

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点 (国語) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「箱庭スタウンダー」に位置づけられている「自学・とも学」を体系的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
	印刷は鮮明であり、文字の色合いや字体などは適切である。		○	○

□国語の観点 教科書会社名（東京書籍）

国語の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっている。	○	○
2	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっている。特に、字んた学習内容を他教科や日常生活の場面で生かす観点も示している。そのページのページが設けられている。国語科における学習内容の習得と他教科や日常生活での活用との関係を通して、日常生活において必要な国語の特質について理解し、適切な使用が可能になることから価値がある。	◎	◎
3	日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になっていること。特に「福間スズンダード」に示されている「自学」とも学「の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。	進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっている。単元の導入の「見通す」でどのような学習をするのかを促している。自分の考えをもちやすい。学習過程の中で、子どもがどのように対話しながら学ぶことができるのかを吹き出して示している。「どのように伝えたい、話を聞かせること」で考えを深めることができるのかを、とらえやすいよう、交流場面におけるモデルが示されている。単元の導入に言語活動や既習との関わり、学習計画が示されており、見通しをもつて主体的に学ぶことができる。	◎	◎
4	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっていること。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっている。「季節の足音」として、季節に関する詩や俳句が紹介されており、日本語の美しさを感ずることができる。	○	○
5	【知識及び技能】に関する事項については、【思考力、判断力、表現力等】に関する事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて、特定の事項だけを指導したり、それらをまとめて指導したりできる内容になっていること。 【C読むこと】の教材については、実際に話し合いたり書いたり読んだりする場面を意図できるとともに、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しむことができる内容になっていること。	日常の言語活動を振り返ることを通して、実際に話し合いたり書いたり読んだりする場面を意図できるとともに、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しむことができる内容になっていること。	○	○
6	【A話すこと・聞くこと】については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできる内容になっていること。	学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできるような内容になっている。特に、単元の年間配置を、「対話」「聞く」「話す」「話し合う」「報告する」というように段階的に設定することで、学習したことを次の単元で活かすことができ、系統的に「話す・聞く力」を育成することができるようにしている。	◎	◎
7	【B書くこと】については、実際に文章に書く活動を書く活動が多く設定することができるように意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。	実際に文章に書く活動を書く活動が多く設定することができるように内容になっている。年間を通して、様々な文種が設定されている。相手意識や目的意識をもつて書くことができるよう工夫されているため、児童が必要感をもって学ぶことができる。	○	○
8	【読書活動及びC読むこと】については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっていること。 【C読むこと】の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。また、説明的な文章については、通直、図表や写真などを含むものを取り上げていること。	読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっている。説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っており、説明的な文章については、通直、図表や写真などを含むものを取り上げている。	○	○
9	教材については、教科及び各学年の目標（知識及び技能）及び【思考力、判断力、表現力等】に示す資力・能力を隔りなく養うことや読書に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをめざらうこと。児童の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げていること。	児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げている。「本は友達の單元で各学年に配付し、10年生の本欄として数多くの本を、表紙の写真とともに紹介しており、児童に興味・関心をもたせるものになっている。	○	○

32

□ 各教科共通の観点 (国語) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	内容の程度は、学年の児童の発達段階に適応している。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的な指導ができるように配慮されている。	○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。教科書の冒頭に、国語科で何を学ぶかが示され、当該学年の学びを見通し、前年度の学びを振り返ることができる。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・もも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。「見通しをもとに」「振り返り」というステップが示されている。「ここが大華」「学ぶときに使う言葉」を明示し、児童の学びの積み重ねが実感できる。「たしかめよう」「くわいよう」「よめよう」「つたえよう」の4つのステップで言葉の力を身に付ける仕組みになっている。自学も期待できると考えられる。	○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができること。	多様性への配慮がされている。交流場面でも、考え方の違いや互いのよさを交流できそうな場面が設定されている。文章の内容に、舞台が日本だけでなく海外のものであったり、ユニバーサルデザインや共生社会について触れたものを扱っている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	—	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。説明文において、図や写真が小さく、分かりにくいものもある。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は取り上げられているが、「発展的な学習」として明示されていない。	—	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。たぐさんの二次元コードがついているが、何の資料かが分かりにくいものもある。	○	○
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いは適切であるが、字体が細く、改行が言葉や文節の途中にあり、語のまとまりを理解しにくい。文字が小さく行間が狭いところがある。	△	△

□国語の観点 教科書会社名 (教育出版)

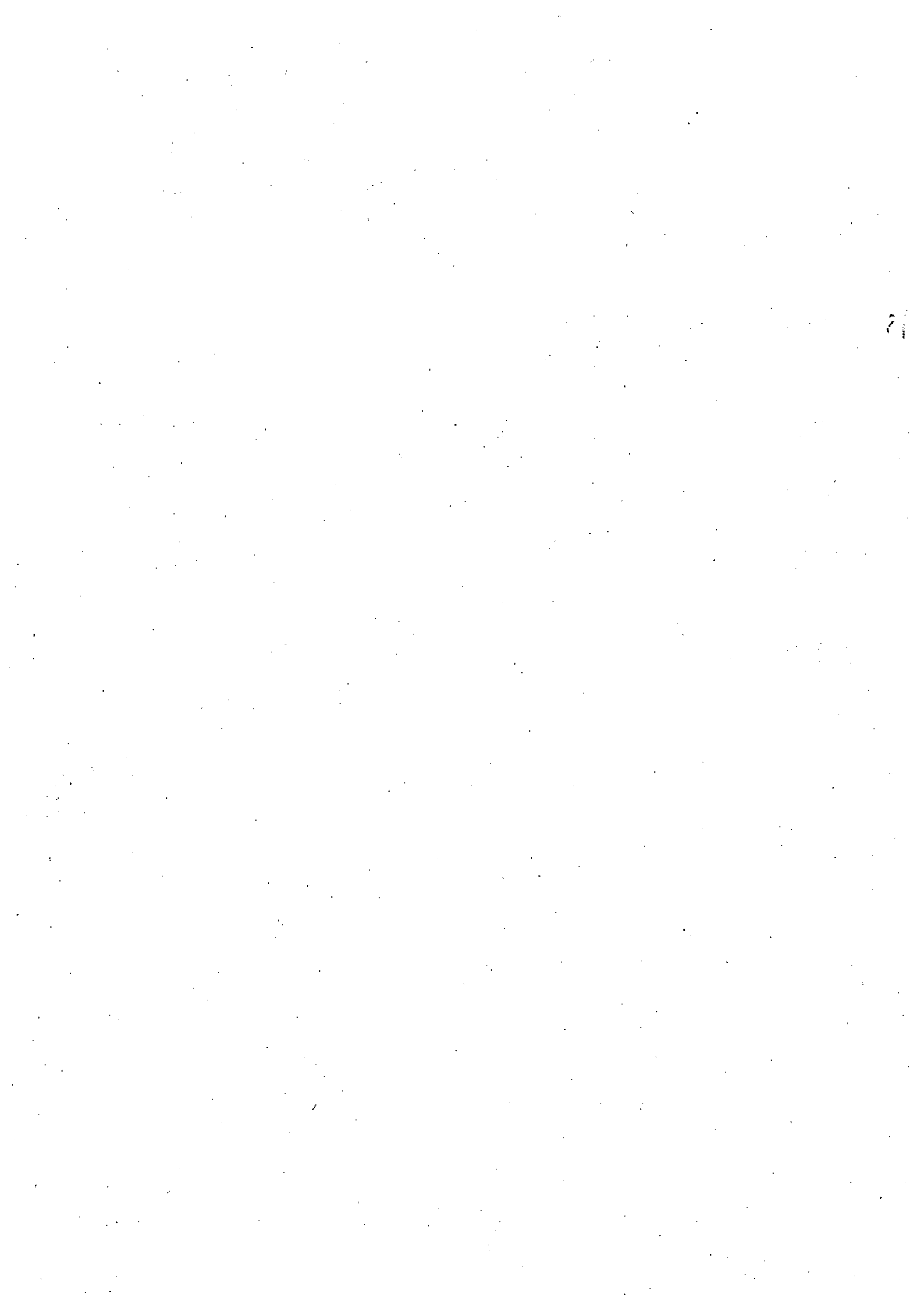
国語の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっている。	○	○
2	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっている。実際の日常生活を想起させるような教材が構成されており、学習と生活のつながりを意識できる。	○	○
3	日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になっていること。特に「福岡スタジアム」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。	進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっている。学習過程の中で、子どもがどのように対話しながら学ぶことができるのかを吹き出しで示している。「どのように伝えたいか、語をつなぐことで考えを深めることができるのか」が、とらえやすいよう、交流場面におけるモデルが示されている。「自学・とも学」をする際の活用につながる「学習の進め方」の記載はあるが、簡単な内容であるため、児童が自ら活用し、学習を進めることが難しい場合もある。	○	○
4	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっていること。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっている。季節に関する言葉の記載が少ない。	○	○
5	〔知識及び技能〕に関する事項については、(思考力・判断力・表現力等)に関する事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて、特定の事項だけを取り上げて指導したり、それらをまとめて指導したりできる内容になっていること。 日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり書いたり読んだりする場面を意識できるような内容になっていること。 また、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しむことができる内容になっていること。	日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり書いたり読んだりする場面を意識できるような内容になっている。また、古典に親しむことができる内容になっている。各単元後に「言葉を増やそう」という記載があり、語彙を系統的に増やしていく工夫がある。	○	○
6	〔A 話すこと・聞くこと〕については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできるように意図的に指導することができる内容になっていること。	学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできるように内容になっている。話す単元、聞く単元が個別に設定されており、スモールステップで学習を進めることができる。	○	○
7	〔B 書くこと〕については、実際に文章に書く活動を多く設定することができるように意図的・計画的に指導する内容になっていること。	実際に文章に書く活動を多く設定することができるように内容になっている。年間を通して、様々な文章が設定されている。相手意識や目的意識をもって書くことができるよう工夫されているため、児童が必要感をもって学ぶことが期待できる。	○	○
8	〔読書〕及び〔C 読むこと〕については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっていること。 〔C 読むこと〕の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。 また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを取り上げていること。	読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっている。説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っており、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを取り上げている。	○	○
9	教材については、教科及び各学年の目標、(知識及び技能)及び(思考力・判断力・表現力等)に示す資質・能力を順に養うことと読書を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げていること。	原書の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げている。各学年とも巻末付録の本を読もうがあり、ジャンルごとに本の紹介がされている。低学年において、読書指導の位置づけがはっきりとしている。	○	○

□各教科共通の観点（国語） 教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		見 所	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	内容の程度は、学年の児童の発達段階に適応している。	○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年・分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的な指導ができるように配慮されている。	○	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。特に、単元名から言語活動がとらえやすく、学習過程が分かりやすく示され、様々な言語活動を通して、言葉の力を身に付けることができる。	◎	◎
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福間スタウンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。5つのステップで言葉の力を身に付ける仕組みが取り入れられており、特に「見通しをもとにする段階で、「問い」を重視しているため、主体的な学びが期待できる。ページの初めに「問いをもと」と「目標」があることで見通しを進めることができる。自学も期待できると考えられる。	◎	◎
エ	「第2次福岡市教育委員会推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができること。	多様性への配慮がされている。交流場面でも、考え方の違いや互いのよさを交流できるような場面が設定されている。文章の内容に、舞台が日本だけでなく海外のものがあったり、ユニバーサルデザインや共生社会について触れたものを扱っている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	—	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見えて適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
分	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
使用上の便	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を促す上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。特に、「ひらがなでかんなぞつ名人になろう」では、どこに何を書けばよいか説明が簡潔にバランスよく配置されているため、観察カードの書き方が理解しやすい。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は取り上げられているが、「発展的な学習」として明示されていない。	—	○
印刷製本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。必要な資料がそろっている。動画は実際のモデルを収録しており、使いやすい。	◎	◎
	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや字体などは適切である。特に、書体が大きくはつきりしていても読みやすい。分がら書きが2年生で段階的に表記され、通常の表記へとつなげられている。色使いやレイアウトにメリハリがあり見やすい。	◎	◎

□国語の観点 教科書会社名（光村図書）

国語の観点		所	研究会	調査研究委員会
1	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっている。	○	○
2	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっている。考んだ内容を確かめたい。せつや、考んだ学習内容を他教科や日常生活で生かすことができるようにヒントを提示したい。そのページが扱われている。国語科における学習内容の習得と他教科や日常生活での活用を通して、日常生活において必要な国語の特質について理解し、適切な使用が可能になることからも価値がある。	◎	◎
3	日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になっていること。特に「福回スタンダード」に示されている「自学・ども学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決ができる内容になっていること。	進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっている。単元の導入や単元の後のページに言語活動や既習との関わり、学習計画が示されており、見通しをもって主体的に学ぶことができる。特に「福回」の単元では、学習の手引きにおいて、言葉への着目の仕方、単元で学ぶ言葉による見方・考え方、言語活動の例が細かく示されており、自分で学び、友達と交流しやすくなっている。	◎	◎
4	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっていること。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっている。短歌や俳句、慣用句など、児童が日常感れることが少ない言語文化に関して、日本の四季が設定されており、言葉がもつよさを改めて感じることができ、学年の発達段階に応じて、日本の四季に関する言葉が得難くされており、活用しやすい。	◎	◎
5	【知識及び技能】に関する事項については、【思考力、判断力、表現力等】に関する事項の指導を通して指導することができる内容になっていること。 【言語活動】を振り返ることを通して、実際に話したり書いたり読んだりする場面の意識できるような内容になっていること。 また、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しむことができる内容になっていること。	日常の言語活動を振り返ることを通して、実際に話したり書いたり読んだりする場面の意識できるような内容になっている。また、古典に親しむことができる内容になっている。【言葉の宝箱】を活用しての言葉の充実が期待できる。	○	○
6	【A 話すこと・聞くこと】については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもったりできるような内容になっていること。 【B 書くこと・聞くこと】については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもったりできるような内容になっていること。	学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもったりできるような内容になっている。原書によって身近な話題が設定されており、「話す」「聞く」「話し合う」の学習がバランスよく配列してあり、反復的・螺旋的に話し合いの技能を身につけ、1～5年生で身に付けた技能を6年生に生かすことができる内容になっている。	◎	◎
7	【B 書くこと】については、実際に文章に書く活動を多く設定することができるように意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。	実際に文章に書く活動を多く設定することができるような内容になっている。年間を通して、様々な文種が設定されている。他領域・他教科との関連を図りながら相手意識や目的意識をもって書くことができよう工夫されているため、児童が必要感をもって学ぶことが期待できる。	◎	◎
8	【読書】及び【C 読むこと】については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっていること。 【C 読むこと】の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。 また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げていること。	読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっている。説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っており、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げている。図書館活用の指導として、身近な学校図書館の利用の活用指導から6年の公共図書館活用へ、場面を広げながら系統的に指導できる配列になっている。	◎	◎
9	教材については、教科及び各学年の目標（知識及び技能）及び【思考力、判断力、表現力等】に示す養育力・能力を偏りなく養育することや読書に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げていること。	児童の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げている。読書単元「本は友達を位置付けており、巻末「本の世界を広げよう」のページでは、様々なジャンル本を紹介することで児童の読書意欲を高めている。	○	○



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 書写

調査研究の視点と主な審議内容（書写）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

主な審議内容	
イ	<p>発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>「発展的な学習が取り上げられていない」と記述があるが、「○」の評価になるのか。事務局の説明の通りであれば、「発展的な学習の内容は取り上げられているが『発展』』として明示がされていない」という表記がよいと思われる。</p>

4 使用上の便宜

主な審議内容	
ウ	<p>1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるような学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p> <p>デジタルコンテンツの内容に、自学でも活用できる動画等はあるのか。 → 学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。必要な資料がそろっている。動画は実際のモデルを収録しており、使いやすい。</p>

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点（書写）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
7	ア 本文・問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。		○	○
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		○	○

□書写の観点 教科書会社名（東京書籍）

書写の観点		見 所		研究会	調査研究委員会
1	文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。ノートや「新聞」などへつなげようとする工夫が見られる。	○	○	○
2	各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっていること。	硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっている。硬筆文字を整えて書くために、書くための体をつくる「書写体操」、複数の硬筆文字を示しながら課題を見出させる工夫、硬筆文字を直接書き込んだりなぞり書きをしたりして理解を深めるための工夫がある。	◎	◎	◎
3	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっている。毛筆の学習を生かして、硬筆で書く「生かそう」のコーナーが設定されており、学習の始めに「ためし書き」、終わりに「まとめ書き」を書くように意図されている。	○	○	○

□各教科共通の観点（書写） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。		○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		○	○
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		○	○
3	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
使用上の留意	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		◎	◎
ウ	1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		○	○

□書写の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

書写の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっている。レッツソフト/「コーナー」を散け、発表資料、ノート、はがき、短歌、かるたなど豊富につないでいこうとする工夫が見られる。	○	○
2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっていること。	硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっている。低学年において、「はね」「はらい」を捉えることができるよう、線が細くなっていく様子を視覚的にとらえることができるような工夫がある。	○	○
3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっている。毛筆で学習したことを生かして硬筆で書く「生かそう」のコーナーが設定されており、学習の始めに「ためし書き」、学習の終わりに「まとめ書き」を書くように意図されている。	○	○

□書写の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

書写の観点	所	研究 会	調査研究委員会
1 文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。	文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっている。特に、6年生に「書写ブック」コーナーを設け、1年生から6年生までの学びが日常生活・他教科・他領域に広がるよう工夫されている。	◎	◎
2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっていること。	硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっている。書くための体をつくる「書写体操」、なぞり書きや空書きなどの活動、書き方を選択して書く活動を取り入れており、姿勢や筆記具の持ち方を定着させたり、学習意欲を高めたりするための工夫がある。	◎	◎
3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっている。毛筆で学習したことを確かめながら硬筆で書く1生かそく1のコーナーが設定されており、硬筆による書写の能力の基礎を養うことができるよう工夫されている。	○	○



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 社会

調査研究の視点と主な審議内容（社会）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

主な審議内容	
<p>4 ウ</p>	<p>観点</p> <p>1 人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>
	<p>△【東京書籍】→研究会の評価どおり</p> <p>デジタルコンテンツについて、東京書籍はワークシートが多いということだが、そのことの何が課題となるのか。</p> <p>→ ワークシートが多いと、子ども達がどれを活用したらよいか分からなくなる可能性がある。また、ワークシートは、自分の考えをまとめる際に、同じような表現になることも考えられる。</p>

□教科の観点について

主な審議内容	
3	<p>観点 様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることができる内容になっていること。</p> <p>◎【教育出版】△【東京書籍】→研究会の評価どおり 子どもが使いやすいという観点は分かりやすい。子ども目線で判断をしているのがよい。</p>

各教科共通の観点

内容の範囲	所見	研究会	調査研究委員会
1 内容及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。 エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 オ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	◎ ◎ ○ ○ ◎	◎ ◎ ○ ○ ◎
2 内容に関する配慮事項	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学」とも「学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。 エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がなされていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○ ○ ◎ ○	○ ○ ◎ ○
3 分量	ア 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。 エ 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用いられ、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	○ ○ ○	○ ○ ○
4 使用上の留意点	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1人台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	○ ○	○ ○
5 印刷製本	ウ 字体や文字数、文字の大きさは概ね適切であり、特に図や写真などに関しても鮮明であり、ひとことごとく大きく記載されているため、すべての児童が使用しやすくなるようになっていること。また、見開きページ右部分の毎時間の問いが記載されており、1単位の学習の内容が捉えやすいレイアウトとなっていること。	◎	◎

□ 社会の観点 教科書会社名 (教育出版)

社会の観点		見	研究会	○	◎
1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究できる内容になっていること。	各県で、「位置や空間」「時間や時間」「算数や人物の相互関係」においての見方・考え方を働かせ、見方・考え方を働かせるように促している。	○	○	○
2	地域や我が国の国土の地理的関係、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国この歴史や伝統文化などを通して社会生活について理解できる内容になっていること。	我が国の地形や気候の概観、そして、様々な土地の人々の暮らしの様子、児童の思考が連続・発展しながら理解できるように構成になっている。	○	○	○
3	様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べ、まとめることができる内容になっていること。	写真や統計資料など様々な種類の資料が掲載されており、それらを活用して適切に調べ、まとめることができる内容となっている。グラフについて二次元グラフを調べ、グラフの見方やNHK for Schoolが提示され、自ら調べやすい構成となっている。	◎	◎	◎
4	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的現象の特色や相互の関係、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことを選択・判断したことを適切に表現できる内容になっていること。	考え、まとめることを多角的に捉え、まとめることができるようフナー・コメント例が具体的に示してある。また、「自分たちができること」を具体的に示すように促している。	○	○	○
5	社会的現象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	3年生「わたしたちのまちと市」の学習の導入では、学校の屋上から児童が実際に目にするまちの様子を360度カメラ写真で掲載している。この時間の問い「次に一つだけよいが位置付けられ、「問いが連続・発展していく構成となっている。	◎	◎	◎
6	地域社会(郷土・郷里)に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土・歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる内容になっていること。	具体的な人物の話を中心に、地域社会について追究を深めることができる構成になっている。国土や歴史についても、年表資料や人物について資料を中心にして詳しく解説がある。	○	○	○
7	アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容。	販売や貿易、歴史、日本とつながりの深い国々等において、アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容になっている。	○	○	○
8	自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等がわかる内容になっていること。	様々な自然災害に備えて、国・県・市の自治体やどんな取り組みをしていることがわかる内容になっている。また、災害の種類ごとに追究できるようにしており、地域に合わせて、選択できる内容となっている。	◎	◎	◎
9	少子高齢化等による地域社会の変化や情報化に伴う生活や産業の変化がわかる内容になっていること。	少子高齢化を具体的な例で挙げており、社会の変化が捉えやすい。	○	○	○
10	各学年において、地図や地球儀、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっていること。	当該学年において、適切に各種資料が扱われており、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を理解できる内容になっている。また、世界の主な大陸・海洋と主な国が確認できるページがあり、確認しやすい内容となっている。	○	○	○
11	(第3学年) 身近な地域や市区町村の地理的関係、地域の安全を守るための防災活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の移り変わりを理解できる内容になっていること。また、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。	これからの社会の在り方や自分の社会への関わり方を考える学習が適宜設けられており、その内容も3年生の発達段階に即したものである。	◎	◎	◎
12	(第4学年) 地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守る防災活動、地域の歴史や文化や地域の発展に尽くした先人の働きが理解できる内容になっていること。また、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。	「地域で受け継がれてきたもの」という単元では、導入で徳島県の地図と県内各地域で行われている行事が紹介され、年表資料や写真・イラスト資料、地域の方へのインタビューなど豊富な資料で追究を深めることができる構成で、地域社会に対する誇りと愛情を養うことができる内容となっている。	◎	◎	◎
13	(第5学年) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて国民生活との関連を踏まえて理解できる内容になっていること。また、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うことができる内容になっていること。	社会的現象の課題について考え、よりよい社会を形成するためにどうすればよいか、SDGとつなげて考える場面が設定されており、これからの将来を担う国民としての自覚を養う内容となっている。	◎	◎	◎
14	(第6学年) 我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や愛した先人の業績を踏まえて理解できる内容になっていること。また、我が国の歴史や文化や地域の発展に尽くした先人の働きが理解できる内容になっていること。また、我が国の将来を担う国民としての自覚を養うことができる内容になっていること。	6学年の目標に沿って、内容は概ね達成している。特に、戦争の時代以降については、現行で白黒だった写真がカラー写真になっており、当時の様子や戦況や戦況について、日本軍が行ったことも色紙で提示しており、当時の世界の様子や戦況や戦況について、日本軍が行ったことも色紙で提示している。	◎	◎	◎

□各教科共通の観点 (社会) 教科書会社名 (日本文教出版)

各教科共通の観点		見 所	研究会 調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会への関わり方を選択・判断する単元では、終末に学習を生かしてカードにまとめたり、話し合ったりする場面の説明が位置付けてあるため、取り組みやすい。教科の目標を意識した内容となっている。	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	図や絵などが大きく掲載しており、児童の問いが自然な流れで学習につながる内容になっており、当該学年の発達段階に適している。	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	単元の終わりに、適切に発展的な学習ができるような構成になっている。発展的な指導ができるように配慮されている。また、単元の内容にあった「考えよう! SDGs」の内容が二次元コードで学習できるようにしている。	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	教科書の構成として、グループで交流する場面や自分の考えを発表する場面が適切に設定されており、言語活動の充実について配慮されている。	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるきかち教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることともに、「横断スタンス」に位置づけられている「自学・ども学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かす、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	学習問題を作り、それに沿って、単元が展開されている。また、児童が興味・関心を持ちながら、主体的・対話的で深い学びが促されるような、キャッチコピーを考えたり、マップを作ったりする活動を設定している。問題解決的な学習になっている。	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	児童の発言例の中に、相手の考えを取り入れて自分の考えに付加したり修正したりする姿や相手の考えの良さを認める姿があり、互いの個性や価値観の違いに十分に配慮されているといえる。	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	子どもの生活にとって身近なものを資料として取り上げた調査活動が設定されており、安全・衛生面に配慮がなされたものである。	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	「未来につながる」という内容があり、学習したことをもとにしたトピック的な内容となっている。また、児童が自主的に調べる内容であり、授業時数の設定はなされていないことが明記されている。	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は授業時数から見て概ね適切である。	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と授業時数に偏りはなく、適切に配分されている。	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域および内容に偏りがなく調和がとれている。	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用いられ、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	本文と資料は適切である。資料はわりと多いが、資料自体が小さかったり、よく見えなかったりするため、調べる際に活用できないものもある。	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は「つなげる」の項目において示されている。	○
8	ウ 1人1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	地球儀を使って緯度や方位の調べ方など、動画を使って視覚的に理解できるようにしている。その他も、二次元コードを活用し、児童が情報を収集・整理・分析できるように内容に合わせ適切にデジタルコンテンツが配置されている。	○
	エ ニュースやデジタルデザインを考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の格式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、ほとんどのページの構成がページの左側に「問い」、上に資料、そして、児童の発言例にはイラストが(つき)がついているなど、パターン化されているため、児童が使用しやすくなっている。しかし、文字の量が比較的多い。	○

55



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 地図

調査研究の視点と主な審議内容（地図）

□教科の観点について

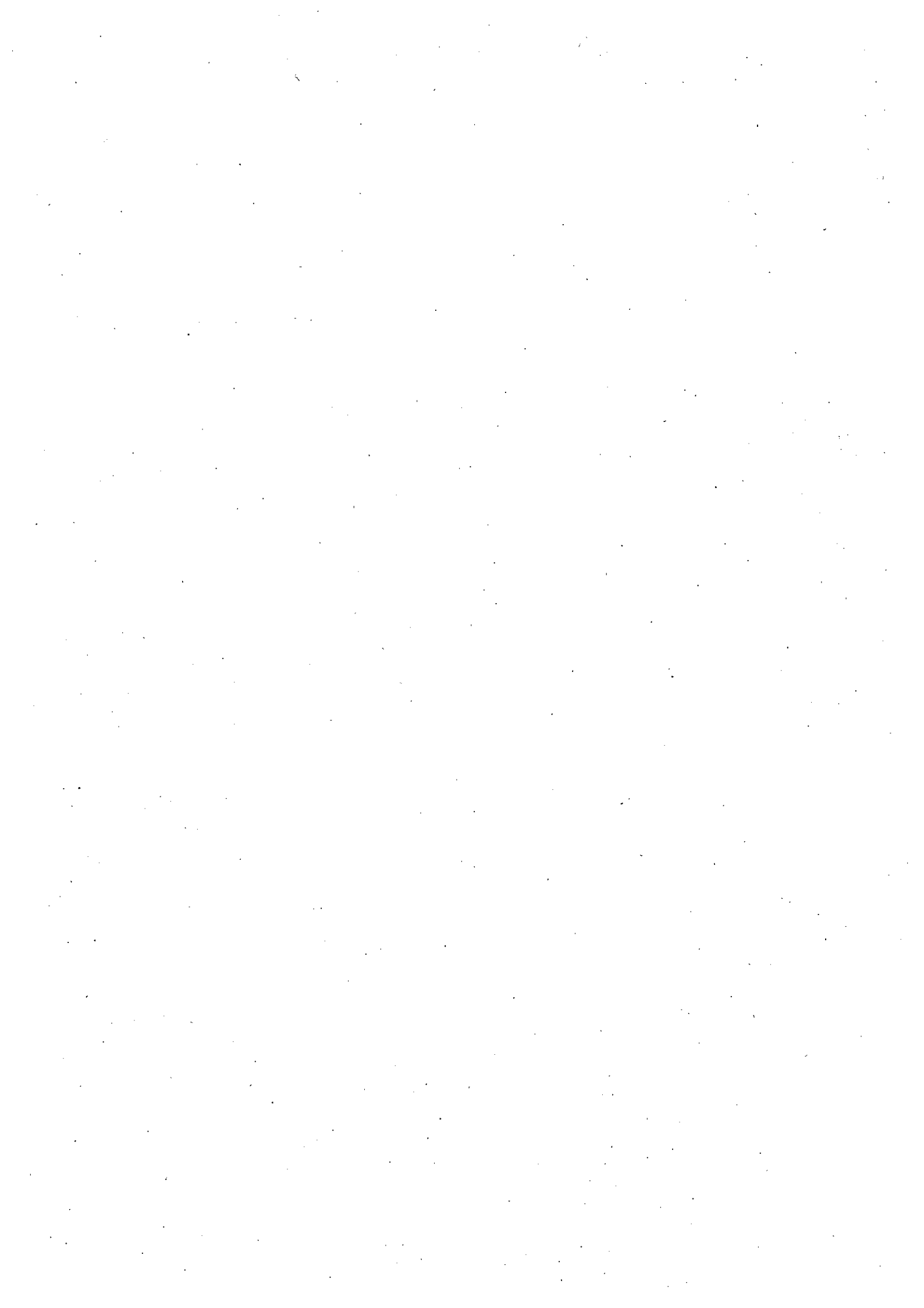
主な審議内容	
<p>2. 我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。</p>	<p>◎【帝国書院】○【東京書籍】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>所見の「必要最小限」という文言は、誤解を生じやすいため、「小学校で学習すべき内容が適切に配置されている。」などの言葉に変更した方がよい。</p> </div>

□地図の観点 教科書会社名（東京書籍）

地図の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的現象の意味や働きなどについて考え、調べたことや考えたことを表現することができる内容になっていること。	各学年の学習内容を重視した内容構成となっており、単元に応じて地図・統計資料を活用しながら調べる内容となっている。しかし、調べる内容に必要なものもある。	○	○	○
2	我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。	47都道府県の地図に関しては、地方ごとに色分けしており、位置関係を把握しやすい。地形や海の深さまで視覚化されており、多角的に追究できる内容である。	○	○	○
3	県の特色や国土の地理的環境の特色や産業の関わり、国民生活との関連を考察することができる内容になっていること。	県の特色や国土の地理的環境と工業や産業との関わりが明記されており、国民生活との関連を考察することができる内容となっている。しかし、情報量が多いところがあり、学習内容に必要なものもある。	○	○	○
4	方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容になっていること。	方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容となっているが、情報が多く記載が小さいところもあり、児童にとっては活用しにくい。	△	△	△
5	近隣の諸国の正式な国名が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを尊重する態度を養う内容になっていること。	近隣の諸国の正式な国名が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解できる内容になっているが、それらを尊重する態度を養う内容になっていない。	○	○	○
6	児童が興味・関心をもって、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認めつつ、我が国とつながりが深い国を選択して調べる内容になっていること。	世界の動物や料理、日本の貿易相手国、歴史上の世界とのかかわりなど、我が国とつながりが深い国を選択して調べる内容である。	○	○	○
7	資料等は最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっていること。	資料等はほとんどが最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっている。また、統計資料は、数字が大きく見やすい構成となっている。	○	○	○

□地図の観点 教科書会社名（ 帝国書院 ）

地図の観点		見 所	研究会	調査研究委員会
1	地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的現象の意味や働きなどについて考え、調べたことや考えたことを表現することができる内容になっていること。	広く見渡す地図になっており、特に3～4年生にとって見やすく全体を捉えることができる。歴史の年表はとでも詳しく、地図から歴史的事象を捉えることができるものである。長業の中でも活用しやすい。	◎	◎
2	我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。	小学校で学習すべき内容が適切に配置されている。世界の地図では、地形図と国ごとに色分けした地図と2種類あり、目的によって使い分けることができ、とても分かりやすい。47都道府県の名称と位置、及び国土の構成や領土の範囲、大陸と海洋の名称と位置が明確に示されており、我が国の位置を表現する活動に活用できる内容になっている。	◎	◎
3	県の特徴や国土の地理的環境の特色や産業の関わり、国民生活との関連を考えることができる内容になっていること。	土地の高さや土地の使われ方の色遣いが見やすく、生産品がイラストなどで記載され、県の特色や産業と産業の関わりが捉えやすい。「日本の自然災害と防災」の資料があり、教科書には乗っていない地図で災害について示してあるので理解しやすい。	◎	◎
4	方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容になっていること。	主に3年生に向けて「方位」「地図記号」「土地利用」を取り上げているページがあり、わかりやすい内容となっている。地図と関連付けて方位を説明しており、活用まで促す構成となっている。地図記号は精選して掲載されており、地形や土地利用の関わりが捉えやすい。	○	○
5	近隣の諸国の正式な国名が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解し、それらを尊重する態度を養う内容になっていること。	世界各国の文化について紹介する地図を掲載したページには、国ごとの国旗や人口、言語などを紹介したコラムもあり、児童が自分で選択して調べることができる内容となっている。	○	○
6	原書が興味・関心をもって、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認めつつ、我が国とつながりが深い国を選択して調べることができる内容になっていること。	各ページにいくつかの国の様子を写真入りで紹介し、世界の地図のページにはトピック（地図マスタワーへの道）があり、児童が興味・関心をもつことができる構成となっている。SDGsの視点からの世界の国の紹介があり、様々な地域の価値を知ることができる内容となっている。我が国とつながりが深い国として、貿易や食料問題について地図だけでなく、統計資料も併せて読み取りながら調べることができる内容となっている。	◎	◎
7	資料等は最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっていること。	資料等は2020年前後の最新のものであり、出典に関しても財務省や気象庁などの出典が明記されている。	○	○



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 算数

調査研究の視点と主な審議内容（算数）

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

主な審議内容	
<p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p>	<p>◎【東京書籍、日本文教出版】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>子どもたちが自ら問題解決を進めていけるように、具体的な学習活動が明記されているかなどの点から、◎と○を判断しているところですが、その点がかかるよう所見を変更した方がよい。</p> </div>

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。			○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。			○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。			○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。			○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。			○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生かせるキャリア教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることと、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・多学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。			◎
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。			◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。			○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。			○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。			○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。			○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。			○
7	ア 本文、問題、説明文、法、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。			◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。			○
8	ウ 1人1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。			◎
	印刷上の便宜			○
9	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうちに、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。			◎
	1年生の教科書が①②、2年生が上下巻に分かれていて、重量の負担軽減になっている。また、1年生の①は薄くA4サイズになっている。絵、写真、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえている。			◎

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (大日本図書)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。			○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。			○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。			○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。			○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。			○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤリア教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。			○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。			○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。			○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。			○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。			○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。			○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。			○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。			○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。			○
8	ウ 1人1人台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。			○
	イ 印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字體、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。			△

□各教科共通の観点（算数）教科書会社名（学校図書）

各教科共通の観点

所見

研究会

調査研究委員会

内容の範囲及び評価の観点	教科書会社名（学校図書）	所見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科書の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。</p> <p>各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。</p> <p>学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。</p> <p>他教科と関連性のある素材を扱っており、教科横断的な指導が行えるようになっている。</p> <p>6年生に「中学校へのかけ橋」という別冊を設け、中学校との接続が行えるようになっている。</p> <p>数学的な見方・考え方をキアプターとして設定し、見方・考え方を系統的に働かせやすくしている。</p>	○	○
2	<p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p> <p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・ども学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p> <p>カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。</p>	<p>各学年に「1人1人になろう」というページがあり、どのようにならうかの足跡が分かるように示されているとともに、各人ポイントがあり、充実した言語活動が行えるようになっている。</p> <p>2年生以上の巻頭に、「みんなと学ぼう！算数の学び方」を設け、問題解決の過程が分かるようにし、主体的な学びが促されるようになっている。</p> <p>それぞれの考えの比較検討ができるような場面を設け、多様性を認め合いながら学習を展開することができるようになっている。</p> <p>配慮されている。</p> <p>単元末に、単元の学習を活用して解決する「もつと算数」が設定され、児童が自己選択で取り組むことができるようになっている。</p> <p>標準授業時数に示した分量になっている。</p> <p>標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。</p> <p>5領域の内容が偏りなく掲載されている。</p> <p>4年生以上から、数直線に4マス関係表を合わせて提示し、問題場面や演算決定の意味理解が図れるようになっている。</p> <p>「深めよう」「まなびを生かそう」という名称を示し、区別できるようにしている。</p> <p>自分の考えを書き出すことができるコンテンツや制限時間を設定して練習問題に取り組むことができるコンテンツが準備されている。</p> <p>1年生～5年生の教科書が上下巻に分かれていて、重量の負担軽減になっているが、教科書のサイズが他教科の教科書やノートとサイズと揃っていないため、整頓する際に不便である。</p> <p>絵、写真、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえている。</p>	○	○
3	<p>ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。</p>	<p>標準授業時数に示した分量になっている。</p> <p>標準授業時数に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</p> <p>5領域の内容が偏りなく掲載されている。</p>	○	○
4	<p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p>	<p>4年生以上から、数直線に4マス関係表を合わせて提示し、問題場面や演算決定の意味理解が図れるようになっている。</p> <p>「深めよう」「まなびを生かそう」という名称を示し、区別できるようにしている。</p>	○	○
5	<p>印刷・製本</p>	<p>自分の考えを書き出すことができるコンテンツや制限時間を設定して練習問題に取り組むことができるコンテンツが準備されている。</p> <p>1年生～5年生の教科書が上下巻に分かれていて、重量の負担軽減になっているが、教科書のサイズが他教科の教科書やノートとサイズと揃っていないため、整頓する際に不便である。</p> <p>絵、写真、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえている。</p>	○	△

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		見 所	研究会 調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。 学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○
	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「誰か学方の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に深い学びが促されるよう配慮されていること。	他教科と関連性のある素材を扱っており、教科横断的な指導が行えるようになっている。6年生の巻末に「数学へのとびう」を設け、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。 各学年に「友だちのノート」を見ようというページが複数設けてあり、ノートを書くときの工夫が子どもの吹き出しを通して提示され、充実した言語活動が行えるようになっている。	○
3	ア 全体分量は、授業時数から見て適切であること。		○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	2年以上の巻頭に、「みんなが算数をはじめよう！」を設け、問題解決の過程が分かるようにし、主体的な学びが促されるようになっている。 多様な考えの比較検討ができる場面を設け、多様性を認め合いながら学習を展開することができるようになっている。特に、4年生の複合図形の面積を求める場面では、後の学年の学習で活用できる多様な考え方が出せるようになっている。	○
4	ア 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○
	ウ 1人1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	標準授業時数に示す事項が、標準授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。 5領域の内容が偏りがなく掲載されている。	○
5	印刷本		○
	電子本		○

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。</p> <p>各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。</p> <p>学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。</p> <p>他教科と関連性のある素材を扱っており、教科横断的な指導が行えるようになっている。5・6年生に、中学校の学習内容を紹介するページが設けられており、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。</p> <p>2年生以上の巻頭に、「算数ノートをつくろう」というページがあり、ノートを書くときの工夫が具体例とともに示され、充実した言語活動が行えるようになっている。</p> <p>2年生以上の巻頭に、「算数の学習の進め方」を設け、問題解決の過程が分かるようにし、主体的な学びが促されるようになっている。</p> <p>多様な考えの比較検討ができるような場面を設け、それぞれの考えの違いが明確にわかるように色分けされ、着眼点や説明なども丁寧に書かれている。</p> <p>配慮されている。</p>	○	○
2	<p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に取り上げることができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>「もっと練習」という名称を巻末に示し、区別できるようにしている。</p> <p>既習を使って考えることができるように、既習内容がコンテキストに準備されている。単元の導入に、予習・復習に使えるような解説動画が準備されている。</p> <p>2年生～4年生の教科書が上下巻に分かれていて、重量の負担軽減になっている。ユニバーサルデザインソフトやカラーユニバーサルデザインが採用され、文字や図、写真が認識しやすいものになっている。</p>	○	○
3	<p>イ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。</p> <p>ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p>	<p>標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。</p> <p>5領域の内容が偏りなく掲載されている。</p> <p>「学びをつなげよう」で既習のまとめの確認を行える等、問題場面や演算決定の意味理解が図れるようになっている。</p>	○	○
4	<p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p> <p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p>	<p>標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。</p> <p>1人1人台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	○	○
5	<p>印刷・製本</p>	<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	○	○

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (日本文教出版)

各教科共通の観点

所 見

研究会

調査研究委員会

内容の範囲及び評価項目	所見	研究会	調査研究委員会	
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。</p> <p>各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。</p> <p>学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。</p>	○	○
2	<p>ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p> <p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくための「教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されている」とともに、「福岡スタジアム」に位置づけている「自学・自習」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>他教科と関連性のある素材を扱っている。 6年生の巻末にも「すぐく中学生」という中学校の学習内容を紹介するページを設け、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。 算数で使用する数学的な見方・考え方を一覽にまとめており、児童が問題解決の際に活用することができるようになっている。</p> <p>2年生以上の巻頭にノートの書き方のページがあり、ノートの書くときの工夫の仕方が複数の具体例とともに示されており、充実した言語活動が行えるようになっている。</p> <p>2年生以上の巻頭に、「さあ、算数の学習を始めよう！」を設け、問題解決の過程が分かるようにしたり、「自分でみんがで」のページを設け、具体的な学習活動と関連させながら問題解決の過程を明記し、主体的な学びが促されるようになっている。</p> <p>「自分でみんがで」のページを設け、多様性を認め合いながら学習を展開することができるようになっている。特に、4年生の複合図形の面積を求める場面では、後の学年の学習で活用できる多様な考え方が出る設定になっている。</p> <p>配慮されている。</p>	○	○
3	<p>イ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないよう配慮されていること。</p> <p>ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p>	<p>単元の学習を活用して解決する「しゅかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」が設定され、児童が自己選択で取り組むことができるようになっている。</p> <p>標準授業時数に応じた分量になっている。</p> <p>標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。</p>	○	○
4	<p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p> <p>ア 本文、問題、説明文、法、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p>	<p>5領域の内容が偏りなく掲載されている。</p> <p>2年生以上の巻末に「よみとろろあわそろ」を設け、具体的な問題場面から数直線のかき方が示され理解を深めることができるようになっている。</p> <p>「ぐっとチャレンジ」という名称を巻末に示し、区別できるようにになっている。</p>	○	○
5	<p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p> <p>印刷</p> <p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>具体物を用意しなくても、考えることができるようにデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>1年生～4年生の教科書が上下巻に分かれていて、重量の負担軽減になっている。 絵、写真、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえている。ただ、1年生では、挿絵にブロックを置きづらかったり、抑あけが文字が出てくるなど、入門期の児童の学習としては難しいものになっている。</p>	○	△



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 理科

調査研究の視点と主な審議内容（理科）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

主な審議内容	
<p>ウ</p> <p>1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>◎【東京書籍】◎【大日本図書】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>東京書籍が◎であるが、1人1台端末の活用についての記述が無い。その点に関しては、活用しやすいのであれば表記した方がよい。</p> </div>

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	教科の目標達成に結びつく内容になっている。自分の経験から予想する流れで振り返りが充実しており、目標達成に結びつきやすい単元構成になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。	内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に鑑み、学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に鑑み、学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	◎	◎
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「話し合いのしかた」のページがあり、児童が話し合う際の手掛かりになるよう配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることと、(「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に「行う」ことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	登場するキャラクターの会話が学習のポイントを与えており、内容を深めるよう配慮されている。「わたしの研究」のページで児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	キャラクターたちがさまざまな意見を出し合い、話し合う場面が示され、それぞれの考えを尊重できるよう工夫されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	活動が安全にできるように必ず赤文字で「注意」の記述がある。巻末に、実験器具の正しい使い方について記載されている。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元後に「理科の世界・たんけん部」の表記があり、発展の内容が記されている。読み物扱いで、児童の負担が過重とならないよう配慮されている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。	適切である。	○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	分野に偏りがなく、調和のとれた構成である。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働いていること。	写真が大きく、鮮明なものが多く、もっと知りたいと興味関心を高めることができるよう配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	まとめの後に、「探検部」があり、発展的な内容が表記され、本文と区別してある。	○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、多くのオリジナルコンテンツが適切に配置されており、動画資料も多い。理科ノート等もダウンロードでき、活用しやすい。	◎	◎
	エ ニューバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の組みや大きさ、字体、行間及び紙本の様式、材料等が適切であること。	内容を精選し、読みやすくなるよう工夫してあるが、文字のフォントや大きさがばらばらであるため、視覚的に見づらい。	○	○

□理科の観点 教科書会社名 (東京書籍)

理科の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもつて観察、実験を行うことなどを通して、自然の事象・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。	児童が自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせるとともに、児童の思考に沿った問題設定になっている部分がある。そのため、予想がしにくかったり、予想がなかったりする学習場面がみられる。	△	△
2	自然の事象・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	二次元コード「やり方」で実験方法を詳しく説明している。 巻末に器具の使い方が詳しく示されている。 観察カードは手書き調のイラストが記載されており、記述内容も児童に気付かせたい内容で書いている。	◎	◎
3	観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	学習過程の中に必ず観察・実験をするように記述しており、問題解決の力を養うことができる内容になっている。	○	○
4	自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	写真が、大きく鮮明で見やすく、興味を引く内容や考えさせさせる構図になっている。 自然に関する写真も多く使われている。	○	○
5	(A物質・エネルギー)については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」、「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年) 主に既習の内容や生活経験に基づき、根拠のある予想や仮説を發想する力(第4学年) 主に予想や仮説を基に、解決の方法を發想する力(第5学年) 主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくり出す力(第6学年)を養う。 (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする内容になっている。 單元によっては、児童のやり取りの中からではなく、着実に問題が出てくるなどして、二次元コードを筋取りする流れになっている。	○	○
6	(B地球・生命)については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生命」、「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年) 主に既習の内容や生活経験に基づき、根拠のある予想や仮説を發想する力(第4学年) 主に予想や仮説を基に、解決の方法を發想する力(第5学年) 主に働きや関係について、より妥当な考えをつくり出す力(第6学年)を養う。 (3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする内容になっている。 原意の思考に沿った問題設定になっていない部分がある。そのため、予想がしにくかったり、予想がなかったりする学習場面がみられる。	○	○
7	第2学年では、生活科の学習との関連が考慮された体系的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	「たねまき」「水と土のかげ」「ししやくのせいしつ」では、生活科で育てたアサガオ等学んできたことを想起させ、問題を見つけていくことになっている。	○	○
8	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、着目した処理を行うよう指示することができるといった体系的な活動を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	インターネットの関連ページの二次元コードが示してあるとともに、調べ学習でインターネットの活用を促している。また、巻末に「コンピュータの使い方」が全学年記載されている。 プログラミングの活動に関しては、簡単な記述にとどまっている。	○	○
9	生物、天気、川、土地などの指道に、地域の自然に親しみ活動や体験的な活動を多く取り入れることができることとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天候、川、土地等の指道では、災害に関する基礎的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。	飼育観察を取り入れた学習内容になっており、体験的な活動を取り入れて、生命を尊重する態度を養うことができる内容になっている。 災害や防災に関する記述がある。	○	○
10	指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をふまえて、博物館や科学学習センターなど連携、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などの指道に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	各学年に、巻末の「ししやくを活用しよう」のページで施設を活用する内容が紹介されている。 実験・観察時に「きけんマーク」が明示されており、事故の防止に留意した内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（理科）教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p>	<p>編纂・掌録の基本的な技能や問題解決の力を養う分には申し分なく、目標達成に結びつく内容になっている。</p> <p>写真やイラストも分かりやすく、内容も発達段階に即している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>「〇年生になったら」「チャレンジ問題」「理科のたまたまはこ」など、発展的な内容や問題が充実している。</p>	○	○
2	<p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p> <p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・本質的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・もともと学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>「理科の学び」に役立てようというページでは、「話し合いや発表のしかた」についての二次元コードが示されており、言語活動を重視した児童同士の対話や問いが示されている。</p> <p>問題解決の過程が明示されており、子どもの主体的で問題解決的な活動が示されている。</p> <p>予想や計画、考察で対話的な場面が設定されている。</p> <p>イラストや写真で、肌の色や髪の色が違う様々な児童が登場しており、多様性に配慮している。</p> <p>予想は必ず2人以上で対話しており、多様性への配慮がされている。</p> <p>活動が安全にできるように必ず赤文字で「注意」の記述がある。</p> <p>「使い方を覚えてよう」のページで、実験器具の正しい使い方について記載されている。</p>	○	○
3	<p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p>	<p>単元の最後に「サイエンスワールド」のページがあり、中学校の内容を中心に発展的な内容が示されている。</p> <p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りなく、調和のとれた構成である。</p>	○	○
4	<p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>単元末に「確かめよう」「学んだことを生かそう」「振り返ろう」「サイエンスワールド」がゼットで配置され、本文とは別に示されている。</p> <p>全ての単元で二次元コードがページの下部に記載されており、1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p>	◎	◎
5	<p>印刷製本</p>	<p>読みやすく簡潔に編集されている。</p> <p>記号が多用されており、資料の意図が読み取りやすい。</p> <p>ユニバーサルデザインポイントが使用されている。</p>	○	○

□理科の観点 教科書会社名 (大日本図書)

理科の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事象・現象についての理解を科学的に解決できる内容になっていること。	自然の事象・現象についての理解を回り、観察、実験などを通して、自然の事象・現象について、自然の事象・現象について、自然の事象・現象を通して、以下の(1)～(3)の物質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」、「粒子」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を回り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験に基づき、根拠のある予想や仮説を着想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を着想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より適切な考えをつくり出す力(第6学年)を養う。 (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。	問題解決の過程が明確に記述されており、児童の思考にむいた科学的な追究が示されている。問題設定や予想、考察場面等に「ココに注目」があり、理科の見方・考え方を働かせ問題解決ができる内容になっている。	◎
2	自然の事象・現象についての理解を回り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。		気温や水温のはかり方、実験に用いる実験器具の取り扱い方法が記載されているので、児童も観察・実験の基本的な技能が身に付きやすい。	○
3	観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。		導入部分に生活場面での写真を載せ、そこから問題を見出すような単元構成になっている。そこから、児童が見通しをもって実験、観察を行うというように、問題解決をスムーズに行える流れになっている。	◎
4	自然を愛する心構えや主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。		自然に関する写真も多く使われている。配色により問題解決の流れが明確に分かりやすくなっているため、主体的に問題解決に臨みやすい。	○
5	[A物質・エネルギー]については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の物質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」、「粒子」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を回り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験に基づき、根拠のある予想や仮説を着想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を着想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より適切な考えをつくり出す力(第6学年)を養う。 (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。		「サイエンスワールド」という読み物資料で、中学校や身の回りの生活での学びにつながる説明も挿入されており、科学の基本的な概念を身に付けさせやすい。 各学年で扱われるべき力については、「理科の学び方」のページで「〇年では、特にココ！」という説明があり、活動がしっかりと行われるよう導かれている。	◎
6	[B地球・生命]については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の物質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生命」、「地球」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を回り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験に基づき、根拠のある予想や仮説を着想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を着想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より適切な考えをつくり出す力(第6学年)を養う。 (3) 生物を尊重する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。		観察の仕方が写真・イラスト付きで描かれており、見ただけで観察の仕方が理解できる内容になっている。予想や仮説を基に、観察方法や、条件制御などの解決の方法を着想する力を養うことができるよう工夫されている。	◎
7	第2学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。		「ゴムや風のカ」では「生活科とのつながり」コーナーで生活科の学習を想起させ、児童自ら問題を提出したり、予想したりすることができるように工夫されている。	○
8	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することのできるような体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。		タブレットでの調べ学習やプログラミング学習の体験的な学習の実際に関する記述がある。6年プログラミングの体験ページでは、基礎編から応用編と丁寧に説明がある。センサーを使ったプログラミングが例示されていて、わかりやすい。	◎
9	生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しみ活動や体験的な活動を多く取り入れることができることにも、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指導では、災害に関する基礎的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。		各地の災害や科学館などの地域教材をふんだんに使っている。災害や防災についても様々な視点で記述がなされる。地域の自然の写真が使われており、自分たちの地域を想起しやすいようになっている。	○
10	指導内容に応じて、「第2次福岡県教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をもふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携し、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などに関する指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。		科学館などの記述が多く、調べ学習や発展的な学習との連携が図られている。また、巻末に理科室の使い方や道具の使い方がまとめて記載されており、事故の防止に十分留意した内容になっている。	○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (学校図書)

各教科共通の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	見通しをもった問題解決の流れが示されているが、予想よりも考察に力を入れている面が見られる。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。	学年相応の難易度で、分かりやすく説明がなされている。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学年間の系統のある単元の二次元コードがあり、「学図プラス」のサイトで必要な既習内容を復習する記述がある。発展的な指導ができるように「やってみよう」コーナーがある。	○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	伝える、記録するなどのポイントをまとめたページが巻末に特設されており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤリアップ教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「問題を発見しよう」や「予想」の部分で、話し合い場面が確保されているが、方向性を示し過ぎていて、児童が主体的に話し合いを進めようとするところがある。	○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	「問題を発見しよう」や「予想」の部分で、複数の人が吹き出しで発言している記載があるが方向性が決められ過ぎていて、多様な考えを認める記述に乏しい。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	各実験における注意が、明確に示してある。巻末に、実験器具の正しい使い方について記載されている。だ液の実験が、直接出すような方法で衛生的でない。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	やってみようの記述はあるが、気力の観察など、中学校内容に関する記述も多く、やや過重になっている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切である。	○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	分野に偏りなく、調和のとれた構成である。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習の流れが、作業的で形式的になっている。写真の提示が作業的な内容に使われている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「やってみよう」で扱う発展的な内容は、実験の終末の一部と区別されているが、内容が難しいものが多い。活用例がない単元もある。	△	△
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「学図プラス」というオリジナルのデジタルコンテンツがあり、適切に配置されている。ICTマークがあり、ICT機器を活用しやすい。	○	○
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び紙本の様式、材料等が適切であること。	紙面に光沢があり、写真なども繊細で見やすい。行間なども適度であるが、順序性が分かりにくい部分がある。また、文字が小さく、情報が多すぎる。	○	○

□理科の観点 教科書会社名(学校図書)

理科の観点		見 所	研究会	調査研究委員会
1	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。	問題を経験的に解決できるような構成になっている。見方・考え方を理科モンスターの活動として登場させ、意識できるように工夫してあるが、単元によって使われない見方・考え方もあり、不十分であると考えられる。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	巻末に実験器具の使い方や使用上の注意などが器具ごとに示されており、観察・実験の基本的な技能を身に付けるのに適している。	○	○
3	観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	問題解決の過程に沿って実験の内容が示されているが、見聞きのページに実験結果まで写真や言葉で示されており、児童の解決の意欲が減衰すると推測される。	△	△
4	自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	「問題を見つけよう」のコーナーがあり、児童の考えから問題を見つけていることがよく工夫されているが、同ページに期待する発言が記述されているので、子ども自身で考えを適切に問題にすることが難しい。	△	△
5	(A)物質・エネルギーについては、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験等を基に、根拠のある予想や仮説を予想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を探究する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えを導き出す力(第6学年)を養う。 (3)主体的に問題解決しようとする態度を養う。	正確な結果が出づらいため、科学の基本的な概念を柱とする内容理解に達していない実験がある。 理科モンスターなどを登場させ、見方や考え方を十分に意識させるよう工夫されている。問題解決の諸能力に関する指導内容が巻末に分かりやすく記述されている。	○	○
6	(B)地球・生命については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生命」「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に理窟点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験等を基に、根拠のある予想や仮説を予想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を探究する力(第5学年)、主に働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えを導き出す力(第6学年)を養う。 (3)生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	見方・考え方を働かせて問題を解決できるように、紹介してある教材教具が工夫されている。 理科モンスターなどを登場させ、見方や考え方を十分に意識させるよう工夫されている。問題解決の諸能力に関する指導内容が巻末に分かりやすく記述されている。	○	○
7	第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究していく」という理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	「問題を見つけよう」の場面では、具体的な活動が紹介されていることが多く、活動を通して体験の中から問題を見出すことができるよう工夫されている。	○	○
8	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるという体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	二次元コードが記載され、児童が自ら情報通信ネットワークを適切に活用できるよう工夫されている。 身の回りで電気を効率よく使うための工夫が取り上げられている。	○	○
9	生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しみ活動や体験的な活動を多く取り入れることができることにも、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指導では、災害に関する基礎的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。	地層見学における乗組船艇での往着点や観察のポイントが詳しくまとめられてある。 火山に関する記述において、ハザードマップや標識などを具体的に示し、考える構成になっている。	○	○
10	指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共有」の観点に基づき、博物館や科学学習センターなど連携、協力を受けることができる内容になっていること。また、観察、実験などの指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	自由研究の項で児童が興味を持つような博物館や科学館が学年ごとに紹介されている。地層の学習において施設の利用を促す記述がある。	○	○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		見所	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	予想とその理由を考え、自分の予想を確かめる方法を考える単元構成になっており、目標達成に結びつきやすいと考える。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	学年の発達段階に適した説明が使われている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	「人の生活と自然環境」が章として取り上げられていないが、過不足なく示されている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	前の学年の振り返りが巻頭にまとめられており、振り返りやすい。各単元の内容の系統が単元のはじめに示されている。	○	○
	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	巻頭に国語科との関連を意識した話型の指導のページがあり、言語活動の充実について十分配慮されている。	◎	◎
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生かせるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進められるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	対話的な記述や対話を引き出す問いが示されている。結論のあと、学びを広げようの項目があり、学習したことを日常生活に当てはめ、深い学びにつなげるよう工夫されている。	○	○
3	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう配慮されていること。	予想場面など、一つの考えだけでなく2人以上の意見を例示することで、多様性を認める記述になっている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	各実験で注意すべき内容は、赤字ではっきりと明記してある。巻末に、実験器具の正しい使い方について記載されている。だ液の実験が、直接出すような方法で衛生的でない。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な内容は、指導内容の生活への応用や他の物質での例示がされており、適している。	○	○
4	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	分野に偏りがなく、調和のとれた構成である。	○	○
5	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配慮されていること。	問題解決の流れを重視しており、思考の流れに沿って関連した写真と資料が適度に配分されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「はってん」として発展的な内容が明確に示されている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「まなびリンク」というオリジナルのデジタルコンテンツがある。ウェブ図鑑の内容は充実しているが、その他の内容は乏しい。	○	○
印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の横さ、材料等が適切であること。	行間など整理されており、見やすい。図や文字が全体的に大きく、配列も読みやすい。	○	○

理科の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見直しを通して、自然の事象・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。	自然の事象・現象についての理解を身に付けることができる内容になっていること。	○	○
2	自然の事象・現象についての理解を身に付けることができる内容になっていること。	自然の事象・現象についての理解を身に付けることができる内容になっていること。	○	○
3	観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	観察、実験などを行うことのできる内容になっていること。	○	○
4	自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	△	△
5	〔A物質・エネルギー〕については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) エネルギー、「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくらせた力(第6学年)を養う。 (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。	〔A物質・エネルギー〕については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) エネルギー、「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくらせた力(第6学年)を養う。 (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。	○	○
6	〔B地球・生命〕については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 「生命」、「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくらせた力(第6学年)を養う。 (3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	〔B地球・生命〕については、自然の事象・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 「生命」、「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくらせた力(第6学年)を養う。 (3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	○	○
7	第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	◎	◎
8	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるという体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	タブレットやパソコンを使った学習の例示や写真がある。動画を活用するページやWEB図鑑が目次で示されており、児童が活用できるようになっている。	○	○
9	生物、天気、川、土地などの指通しに、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることができることにも、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指通しは、災害に関する基礎的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。	災害について多く取り上げ、学習内容と結び付けられるように単元の配列を工夫してある。	○	○
10	指通し内容に於いて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をもふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などの指通しに当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	巻末に「科学館や博物館の利用」のページがあり、学年の学習内容にあった科学館が紹介されている。実験の際の注意事項に関する記述が、手順ごとに記載されている。	○	○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (信州教育出版)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p> <p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるよう、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>問題の見出しや予想、実験の立案の場面など、問題解決の過程の記述が一部乏しい面が見られる。</p> <p>内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>「思い出そう」で、各学年相互間の関連を図っているが、ない単元もある。他教科と系統を図ったような内容は見られない。</p> <p>ノートの記事例や話し合いの児童の発言の例示が示されているが、詳細に記載されているため、児童が考える余地が少なくなっている。</p> <p>問題の見出しや予想、実験の立案など、問題解決の過程の一部の記述が乏しいため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されているとは言えない。</p> <p>問題の見出しの場面では、必ず2人以上の多様な考えが示されており、多様性が保障されている。</p> <p>安全面の注意が、赤文字、マーク付きで囲んで示しており、安全面に關する注意を喚起している。</p> <p>発展的な内容は写真を中心に示されており、過重にならないよう視覚的に示されている。</p> <p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りなく、調和のとれた構成である。</p> <p>図や写真が見にくいものが多いため、何を伝える資料なのか分が分りにくい。</p> <p>発展的な内容は「やってみよう」として別枠で示されている。</p> <p>すべての単元に、二次元コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>図や写真が鮮明ではない。紙質がしっかりしており、丈夫である。字体・太さ・フォントの種類が多く、見づらいなページがある。</p>	○	○
2	<p>ア 全体分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。</p> <p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働かように配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>問題の見出しや予想、実験の立案の場面など、問題解決の過程の記述が一部乏しい面が見られる。</p> <p>内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>「思い出そう」で、各学年相互間の関連を図っているが、ない単元もある。他教科と系統を図ったような内容は見られない。</p> <p>ノートの記事例や話し合いの児童の発言の例示が示されているが、詳細に記載されているため、児童が考える余地が少なくなっている。</p> <p>問題の見出しや予想、実験の立案など、問題解決の過程の一部の記述が乏しいため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されているとは言えない。</p> <p>問題の見出しの場面では、必ず2人以上の多様な考えが示されており、多様性が保障されている。</p> <p>安全面の注意が、赤文字、マーク付きで囲んで示しており、安全面に關する注意を喚起している。</p> <p>発展的な内容は写真を中心に示されており、過重にならないよう視覚的に示されている。</p> <p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りなく、調和のとれた構成である。</p> <p>図や写真が見にくいものが多いため、何を伝える資料なのか分が分りにくい。</p> <p>発展的な内容は「やってみよう」として別枠で示されている。</p> <p>すべての単元に、二次元コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>図や写真が鮮明ではない。紙質がしっかりしており、丈夫である。字体・太さ・フォントの種類が多く、見づらいなページがある。</p>	○	○
3	<p>ア 全体分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。</p> <p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働かように配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>問題の見出しや予想、実験の立案の場面など、問題解決の過程の記述が一部乏しい面が見られる。</p> <p>内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>「思い出そう」で、各学年相互間の関連を図っているが、ない単元もある。他教科と系統を図ったような内容は見られない。</p> <p>ノートの記事例や話し合いの児童の発言の例示が示されているが、詳細に記載されているため、児童が考える余地が少なくなっている。</p> <p>問題の見出しや予想、実験の立案など、問題解決の過程の一部の記述が乏しいため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されているとは言えない。</p> <p>問題の見出しの場面では、必ず2人以上の多様な考えが示されており、多様性が保障されている。</p> <p>安全面の注意が、赤文字、マーク付きで囲んで示しており、安全面に關する注意を喚起している。</p> <p>発展的な内容は写真を中心に示されており、過重にならないよう視覚的に示されている。</p> <p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りなく、調和のとれた構成である。</p> <p>図や写真が見にくいものが多いため、何を伝える資料なのか分が分りにくい。</p> <p>発展的な内容は「やってみよう」として別枠で示されている。</p> <p>すべての単元に、二次元コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>図や写真が鮮明ではない。紙質がしっかりしており、丈夫である。字体・太さ・フォントの種類が多く、見づらいなページがある。</p>	○	○
4	<p>ア 全体分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。</p> <p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働かように配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>問題の見出しや予想、実験の立案の場面など、問題解決の過程の記述が一部乏しい面が見られる。</p> <p>内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>「思い出そう」で、各学年相互間の関連を図っているが、ない単元もある。他教科と系統を図ったような内容は見られない。</p> <p>ノートの記事例や話し合いの児童の発言の例示が示されているが、詳細に記載されているため、児童が考える余地が少なくなっている。</p> <p>問題の見出しや予想、実験の立案など、問題解決の過程の一部の記述が乏しいため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されているとは言えない。</p> <p>問題の見出しの場面では、必ず2人以上の多様な考えが示されており、多様性が保障されている。</p> <p>安全面の注意が、赤文字、マーク付きで囲んで示しており、安全面に關する注意を喚起している。</p> <p>発展的な内容は写真を中心に示されており、過重にならないよう視覚的に示されている。</p> <p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りなく、調和のとれた構成である。</p> <p>図や写真が見にくいものが多いため、何を伝える資料なのか分が分りにくい。</p> <p>発展的な内容は「やってみよう」として別枠で示されている。</p> <p>すべての単元に、二次元コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>図や写真が鮮明ではない。紙質がしっかりしており、丈夫である。字体・太さ・フォントの種類が多く、見づらいなページがある。</p>	○	○
5	<p>ア 全体分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。</p> <p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働かように配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>問題の見出しや予想、実験の立案の場面など、問題解決の過程の記述が一部乏しい面が見られる。</p> <p>内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>「思い出そう」で、各学年相互間の関連を図っているが、ない単元もある。他教科と系統を図ったような内容は見られない。</p> <p>ノートの記事例や話し合いの児童の発言の例示が示されているが、詳細に記載されているため、児童が考える余地が少なくなっている。</p> <p>問題の見出しや予想、実験の立案など、問題解決の過程の一部の記述が乏しいため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されているとは言えない。</p> <p>問題の見出しの場面では、必ず2人以上の多様な考えが示されており、多様性が保障されている。</p> <p>安全面の注意が、赤文字、マーク付きで囲んで示しており、安全面に關する注意を喚起している。</p> <p>発展的な内容は写真を中心に示されており、過重にならないよう視覚的に示されている。</p> <p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りなく、調和のとれた構成である。</p> <p>図や写真が見にくいものが多いため、何を伝える資料なのか分が分りにくい。</p> <p>発展的な内容は「やってみよう」として別枠で示されている。</p> <p>すべての単元に、二次元コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>図や写真が鮮明ではない。紙質がしっかりしており、丈夫である。字体・太さ・フォントの種類が多く、見づらいなページがある。</p>	○	○

□理科の観点 教科書会社名（信州教育出版）

理科の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題 を科学的に解決できる内容になっていること。	学年の初めに「理科の学習のすすめかた」で、問題解決の過程を示しており、児童が問題を解決しながら学習を進めていく内容になっている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。		○	○
3	観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	問題指示の後にすぐに実験場面の記載があり、児童が見通しをもって観察、実験に取り組みにくく、児童が問題解決の過程にそって学習しづらい。	△	△
4	自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	問題解決の過程に沿って追究している単元もあるが、単元によっては主体的に問題を解決する場面が少ないものも見られる。	○	○
5	〔A物質・エネルギー〕については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の「物質・能力を育成することができる内容」になっていること。 (1)「エネルギー」「原子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容に関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験等を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。 (3)主体的に問題解決しようとする態度を養う。	既習内容や次の学習へのつながりが意識した記述がみられ、系統的な学習ができるように工夫されている。より妥当な考えを練り上げる過程が、「考えてみよう」などの記述で終わっている。	○	○
6	〔B地球・生命〕については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の「物質・能力を育成することができる内容」になっていること。 (1)「生命」「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容に関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験等を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に働きや関係について、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。 (3)生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	「身近な自然のなかみ」が「太陽とかけをくらべよう」の後ろにあるなど、福岡市の気候では時期が悪く、実際に飼育栽培をすることは、やや難しい。	△	△
7	第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	「学習や経験を思い出そう」マークが示されているが、生活科と明記されていないため、生活科の体験した内容を想起しづらい。	○	○
8	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるという体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	コンピュータを活用した記述がみられるが、少ない。プログラミングに関する記述も「活動のみで簡素である。プログラミングでMESHではなく、「命令を実行するコンピュータ」が組みこまれた装置(ボード)」を使用しているため、福岡市では使えない。	△	△
9	生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることができることとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に参与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指導では、災害に関する基本的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。	自然の中での体験的な活動の記述がみられ、災害についても火山や地震などで多く記述がある。しかし、イラストや写真が分がつかず、福岡市には、身近ではない地域の内容が多い。(長野県など)	○	○
10	指導内容に於いて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点にふまえて、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などに関する指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	科学館などの資料や写真が少なく、連携を図る内容に乏しい。安全面や衛生面での記述があり、事故の防止に留意した内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p>	<p>すべての単元で、問題をこれまでの生活経験や学習経験から見出し、科学的に探究する内容になっている。</p> <p>内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。</p> <p>過不足なく取り上げられている。</p> <p>全学年巻末に「オクターの資料室」があり、算数科や国語科との相互関連を図っている。「思い出しみよう」が単元のはじめに示されており、前単元とのつながりが意識されている。</p> <p>交流場面が設定されているが、詳しく明示され過ぎているため、内容が限られる心配がある。巻末の「オクターの資料室」では、国語科との相互関係を図っており、言語活動の充実について配慮されている。</p>	○	○
2	<p>ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・ども学」を効果的に行うことができよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>主体的に考えるための問題のすぐ下に答えとなる吹き出しがあるため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されているとは言い難い。</p> <p>様々な立場の考えを並列に示しており、他者の価値観を尊重することができる。</p> <p>挿絵のキャラクターに髪や肌の色が様々な子どもが多く登場する。</p> <p>安全面の注意が、赤文字で書いてあったり、マークで示してあったりして安全面に關する注意を喚起している。</p> <p>学習の後に、「活用しよう」「理科の広場」のコーナーがあり、生活への発展や応用が例示されている。</p>	△	○
3	<p>ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p>	<p>適切である。</p> <p>適切に配分されている。</p> <p>分野に偏りがなく、調和のとれた構成である。</p> <p>本文の構成がどの単元も統一されており、学習しやすい。</p>	○	○
4	<p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p>	<p>学習の後に、「活用しよう」「理科の広場」のコーナーがあり、生活への発展や応用が例示されている。</p> <p>本文の構成がどの単元も統一されており、学習しやすい。</p>	○	○
5	<p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p> <p>エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び紙本の構造、材料等が適切であること。</p>	<p>単元ごとに適宜二次コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p> <p>字体や写真が鮮明で見やすい。</p> <p>ユニバーサルデザインポイントが使用されている。</p>	○	○

□理科の観点 教科書会社名（啓林館）

理科の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。	問題解決の思考の流れが明確に示されており、生活やこれまでの学習を通して学んだ見方を生かして思考し、科学的な解決のプロセスが保障されている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する内容に付けていること。	実験器具や実験方法の説明が分かりやすく記載してある。理科室を使う4年～6年では「みんなで作る理科室」があり、理科室の使い方が確認でき、基本的な技能を身に付けやすい。	◎	◎
3	観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	学習の過程の中で必ず観察・実験をするようにしており、問題解決の力を養うことができる内容になっている。	○	○
4	自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	教科書にでてくるキャラクターの発言が結論づけている傾向があり、児童が考える余地が少ない。飼育観察を取り入れた学習過程になっており、自然を愛することができるようになっている。	△	△
5	〔A物質・エネルギー〕については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」、粒子といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年) 主に既習の内容や生活経験等を基に、推測のある予想や仮説を発想する力(第4学年) 主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年) 主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。 (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。	単元を長く聞いては、1単元時間や1実験の問いが明示されている。単元の始めに「思い出そう」のコーナーがあり、系統的な学びができるように工夫されている(二次元コードあり)。	○	○
6	〔B地球・生命〕については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生命」、地球といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を思いだす力(第3学年) 主に既習の内容や生活経験等を基に、推測のある予想や仮説を発想する力(第4学年) 主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年) 主に働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。 (3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	「植物を調べよう」の学習などで「思い出していこう」のコーナーがあり、系統的な学びができるように工夫されている(二次元コードあり)。	○	○
7	第8学年では、生活科の学習との関連が考慮された体系的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	「植物を調べよう」の学習などで「思い出していこう」のコーナーがあり、生活科で学習したことを想起して予想したり問題を見出したりすることができるように工夫されている(二次元コードあり)。	○	○
8	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるようにした体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	プログラミング的思考を実験の生活場面に即して記述しているが、MESHを使用していない。二次元コードが示されており、ICTを活用した理想的な理解ができる。また、巻末には、「ワケビツト」が設定しており、タブレットを活用して問題を解くことができる。	○	○
9	生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることができることとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指導では、災害に関与する基礎的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や資源と関わりながら学習できる内容になっていること。	ハザードマップや実際の災害場面などを扱い、よさとデメリットの両面からバランスよく記述が見られる。	○	○
10	指導内容に於いて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共有」の観点に基づき、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などの指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	「せつへの活用」のコーナーで科学館や博物館の写真や紹介がなされる。実験・観察時に「注意マーク」が明示しており、事故の防止に留意した内容になっている。	○	○

